

就職内定報告 2019

現代文化学部

(2020年度入学生より「国際文化学部」に名称変更)

国際ファッション文化学科 4年

映画・舞台衣装デザイナーコース

熊本県 / 県立熊本高等学校 出身

内定企業

株式会社オリエンタルランド

／ショーコスチュームコーディネーター

事業内容：テーマパークの経営・運営および不動産賃貸等



第1志望企業からの内定

(株)オリエンタルランドから内定をいただいた時は、本当に驚きました。もともと人気が高く応募者の多い企業であり、加えて私が希望した職種はショーコスチュームコーディネーターというショー衣装に関する専門職で、今回の募集は若干名だったためより狭き門でした。大学4年間で学んだことを最大限に生かして採用試験に臨んだ結果として、第1志望の企業より内定をいただけたのだと改めて思っています。試験を通じて BUNKA で勉強したこと、経験したことのすべてを評価していただくことは私の大学生活の評価でもあり、これからの私の力の源だと思っています。



就職活動で使用したポートフォリオ。授業課題だけでなくクラブ活動で製作した衣装作品やアクセサリー作品など、多彩な学びの環境にあったことをPRできました。

4年間で様々な衣装制作とショーステージを経験

幼いころからバレエ・ダンス・ピアノを習い“衣装”に接する機会があったため、ファッションの中でも舞台や映画の衣装に関心がありました。高校入学当初は将来の夢として別の職業を意識していましたが、大学進学を考えるにあたりファッションを勉強したいという気持ちが大きくなると、母の後押しもあり BUNKA でファッションを学ぶことを決意しました。国際ファッション文化学科では衣装に触れる機会が多くありますが、私は課外活動としてファッションショーを行う企画集団「FUSE」にも所属。自分たちで衣装デザイン・制作・ショー運営等々をすべて行いました。それ以外にも3年次に学科ファッションショー、4年次には卒業イベントと衣装制作のほか自分自身もステージに出演することで、衣装の機能性を知ることやステージスケジュール管理など、1つのステージを完成させるために様々な角度からその構成を学ぶことができたことと理解しています。4年間でたくさんのショーステージを経験できたことは、本当に貴重だったと思います。



就職活動で大切なポイント

私が4月から携る仕事では、ショー衣装の全工程の生産管理を行います。そのため、採用試験ではデザインだけでなく、分析や工程管理などの課題も。どれも BUNKA でファッションショーなどの衣装に携わる経験をしてきたことと関係していたため、それらの経験は非常に役立ちました。また、就職活動を行うにあたっては、自己と企業をしっかりと分析し論理的に自分の意見を伝えることを大切にしていました。その企業で働きたいという思いを伝えることは大切ですが、企業に対して自分が持つ可能性をPRできることも重要だと思ったからです。もちろん、笑顔と「絶対に受かる」という気持ちも大切なことです。卒業後は新しい生活が待っています。自分らしく楽しみながら仕事をしていきたいと思っています。



文化学園大学ホームページ

<https://bwu.bunka.ac.jp/>